

特記仕様書

1 本特記仕様書は、広島城三の丸整備等に係る民間事業者の公募・選定支援業務のうち、既存施設の撤去等に係る検討に適用する。

2 業務内容について

当該業務は、広島城三の丸整備等に係る民間事業者の公募・選定支援業務を円滑に行うに当たり、業務範囲のうち三の丸における既存施設の撤去等に係る検討を行うものである。

【撤去対象施設】

浄化槽及び当該浄化槽を撤去するための作業ヤード内の既存施設（公衆トイレ、舗装、埋設物、植栽など）

具体的な業務内容は以下のとおりである。

(1) 施設撤去検討

ア 設計計画

撤去対象施設の撤去等の検討を行うための業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

イ 現地踏査・撤去検討

既往資料や現地踏査により、撤去対象施設及びその周辺の状況について把握し、地盤条件、施工条件及び周辺環境条件等を基に、撤去方法、作業ヤードの範囲、仮囲いや搬入ゲートなどの仮設構造物の配置について検討する。また、撤去に必要な施設情報を収集・整理する。

ウ 図面作成

イの作業結果を基に、対象施設の撤去に必要な撤去図面（平面、断面、構造図）及び撤去後の仮復旧図面を作成する。既存施設の既往図面がない場合は、計測調査結果に基づき図面化する。また、紙媒体での図面しかない場合は、CADソフトで計測できるように電子化作業を行う。

エ 数量計算書作成

撤去図面に基づき、木、金属、アスファルト、コンクリートなどの分別材料ごとの撤去数量及び仮復旧整備に係る数量計算書を作成する。

オ 照査

基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査を行う。

カ 報告書作成

これまでの検討経緯について整理するとともに、図面、数量計算書、概算工事費、施工段階での注意事項等の内容の取りまとめを行う。

(2) 仮設構造物詳細設計（切梁式2段を想定）

ア 設計計画

浄化槽を撤去するに当たって必要となる仮設構造物について、アストラムラインへの影響を考慮し、構造形式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。

イ 設計計算

地盤条件、施工条件及び周辺環境条件等、基本的な条件の下で応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。

ウ 設計図

設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。

エ 数量計算

決定した仮設構造物詳細形状に対して、項目ごとに数量の算出を行う。

オ 照査

基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査を行う。

カ 報告書作成

設計条件、構造形式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容の取りまとめを行う。

(3) 関係機関との協議

検討結果を用いて関係機関（国土交通省広島国道事務所、広島高速交通株式会社など）との協議に必要な資料を取りまとめる。また、協議に同行して協議の補助を行い、議事録を作成する。

3 数量の算出について

業務における各種数量の計算等に当たっては、土木工事数量算出要領を適用し、調査職員と協議の上決定すること。

4 成果物について

提出する成果物は、次のとおりとする。

- (1) 位置図
- (2) 平面図
- (3) 構造図（既設構造物）
- (4) 仮設計画図
- (5) 数量計画書
- (6) 報告書
- (7) その他調査職員が指示するもの